

平成 29 年 4 月 吉日

一般社団法人香川県社会福祉士会  
会 員 各 位

一般社団法人香川県社会福祉士会  
会 長 岡 崎 昌 枝 (公印略)  
研修委員長 三 瀬 誠

## 平成 29 年度「基礎研修Ⅰ」の開催について（ご案内）

陽春の候、会員各位におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平成 24 年度から新・生涯研修制度の運用が開始され、研修の課程は「基礎課程」と「専門課程」の二つの課程になりました。「基礎課程」は、基礎研修Ⅰ、基礎研修Ⅱ、基礎研修Ⅲからなり、都道府県社会福祉士会で開催されます。基礎研修課程を修了すると、次は専門課程へ進みます。基礎研修Ⅰ～Ⅲ以外は専門課程に位置づけられます。

さて、今年度も、「基礎研修Ⅰ」を別紙の内容のとおり開催することといたしました。

「基礎研修Ⅰ」のねらいは、社会福祉士としての自覚を促すとともに、実践の基礎となる価値・知識・技術について理解することを目的としております。

別紙募集要項のとおり開催いたしますので、受講くださいますようご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

### 記

研修期間	平成 29 年 6 月 1 日～平成 29 年 10 月 1 日
研 修 名	基礎研修Ⅰ（研修内容は、別紙「募集要項」を参照ください。）
募集人数	30 名（先着順）
受講費用	5,000 円＋テキスト代 4,104 円
応募締切	平成 29 年 5 月 31 日（水）必着
申 込	募集要項巻末の申込用紙に必要事項をご記入の上、郵送・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。

お問合せ先： 一般社団法人香川県社会福祉士会 事務局  
〒762-0084 香川県丸亀市飯山町上法軍寺 2611 番地  
TEL 0877-98-0854 FAX 0877-98-0856

■募集要項■

○ ねらい

社会福祉士としての自覚を促すとともに実践の基礎となる、価値・知識・技術について理解する。

○ 到達点

1. 専門職が職能団体を持つ意義を知る
2. 日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織と役割を知る
3. 生涯研修制度を知る
4. 社会福祉士共通基盤を知る
5. 実践現場における社会福祉士の専門性をふまえた役割を知る
6. 実践を踏まえて社会福祉士が倫理綱領や行動規範を持つ意味を知る

○ 研修内容

1. 事前課題 「社会福祉士の役割を考える」 1200字レポート、  
事前課題 「社会福祉士としての専門性について考える」 800字レポート

① ねらい

社会福祉士となり、専門職としての実践のあり方や研修を受ける意義を知る。

② 内容

「生涯研修手帳」「倫理綱領・行動規範」を読み、「社会福祉士として大切にしたいこと」「どのような社会福祉士になりたいか」をレポートにまとめる。

③ 事前課題の提出をもって集合研修1の受講を認める。

④ 提出締切 平成29年6月25日(日)

2. 第1回集合研修 「社会福祉士のあゆみ」、「日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士の組織」、「生涯研修制度」、「社会福祉士の専門性について考える」 7月9日(日)

3. 中間課題

① 社会福祉士に共通する専門性の理解 1200字レポート

i ねらい

社会福祉士の共通基盤について理解し、どの分野や立場においても必要な専門職の力量について理解する。

ii 内容

『基礎研修テキスト』上巻のp1～p25を読み、なぜ社会福祉士にとって共通基盤が必要なのかをあなたの実践に即してレポートにまとめる。

② 所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ 1200字レポート

i ねらい

自らの現状と課題及び所属組織における現状と課題について学び、今後の方向性を考察する。

ii 内容

所属先におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を職場で活躍している先輩社会福祉士から話を聞いて現状を踏まえて考察する。自らの現状と課題及び組織における現状と課題をまとめる。

③ 所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ 1200字(2箇所以上)

※1施設(事業所)につき1200字。

- i ねらい  
所属組織とは異なる領域におけるソーシャルワーカー実践の現状と課題について学ぶ。
- ii 内容  
他領域におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を、所属組織以外の施設や事業所(独立型社会福祉士事務所を含む)で活躍している先輩社会福祉士から話を聞き、他領域の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察しレポートにまとめる。
- iii 他領域は2箇所以上とする。

⑤ 倫理綱領・行動規範の理解 1200字(1200字×2項目) レポート

- i ねらい  
倫理綱領と行動規範のつながり、社会福祉士が行動規範を持つ意味を知り実践に役立てる。
- ii 内容  
あなたの日頃の実践を振り返り、「社会福祉士行動規範」と照らし合わせ、2つの項目を取り上げ、あなたの実践を原稿用紙に「社会福祉士行動規範」1項目につき1200字程度で考察する。

※ 達成できなかった課題については、集合研修2の受講後12ヶ月以内に提出をしなければ、「基礎研修I」修了を認めない。

⑥ 提出締切 平成29年9月17日(日)

4. 第2回集合研修「社会福祉士に共通する専門性の理解」、「倫理綱領・行動規範の理解」、「社会福祉士の倫理綱領の実践適用」、10月1日(日)

○ 第1回及び第2回集合研修 開催日時・場所・内容

<第1回> 平成29年7月9日(日) 9:30~16:50

香川県社会福祉総合センター 6階 研修室

(高松市番町一丁目10番35号 TEL 087-835-3334)

講義:「社会福祉士会のあゆみ」、「日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会の組織」、「生涯研修制度」

演習「社会福祉士会の専門性について考える」

<第2回> 平成29年10月1日(日) 9:15~16:30

香川県社会福祉総合センター 7階 第1中会議室

講義「社会福祉士共通基盤の理解」「倫理綱領・行動規範の理解」

演習「社会福祉士の倫理綱領の現場適用」

○ 受講要件

すべての社会福祉士(基礎研修の受講開始日迄に入会手続きを行った者)を対象とする。

○ 受講費用 5,000円(別途にテキスト代4,104円必要です)

○ 申込締日 平成29年5月31日(水) 必着(FAX・メール可)

○ 受講申込要領

受講申込みは下記受講申込書に必要事項をご記入の上、郵送・FAX・メールで申込んで下さい。

受講費用は、集合研修1回目の受付にて徴収させていただきます。  
テキストは、集合研修1回目の受付で販売いたします。

○ 受講通知書

受講可否は、申込〆切後に決定し通知します。

○ 修了基準

1. すべての科目を受講で修了とします
2. 15分以上の遅刻・早退・欠席は認めません
3. 遅刻・早退・欠席した科目は、次年度開催時に受講することで修了とします

○ 研修時にご持参いただくもの

受講証・筆記用具

○ レポート提出について

1. 締切

事前課題 平成29年6月25日(日)

中間課題 平成29年9月17日(日)

2. 提出方法

一般社団法人香川県社会福祉士会事務局まで、郵送またはメールにて提出のこと

○ 申込・問合せについて

一般社団法人 香川県社会福祉士会 事務局 (担当:高木)

.....基礎研修I受講申込書.....

所属県士会名 (未入会者は空欄)	
日本社会福祉士会 が発行した会員番号 or 社会福祉士登録番号	※県士会に所属していない場合は、社会福祉士登録番号を記載し、社会福祉士の登録証のコピーもあわせてお送りください。
(ふりがな) 氏 名	
送付先住所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 ・自宅、勤務先の別の必ずチェックしてください。 ・勤務先の場合は、下記の勤務先名も必ずご記入ください。
	〒  勤務先名：
連絡先TEL	